

予防医学のアンファー

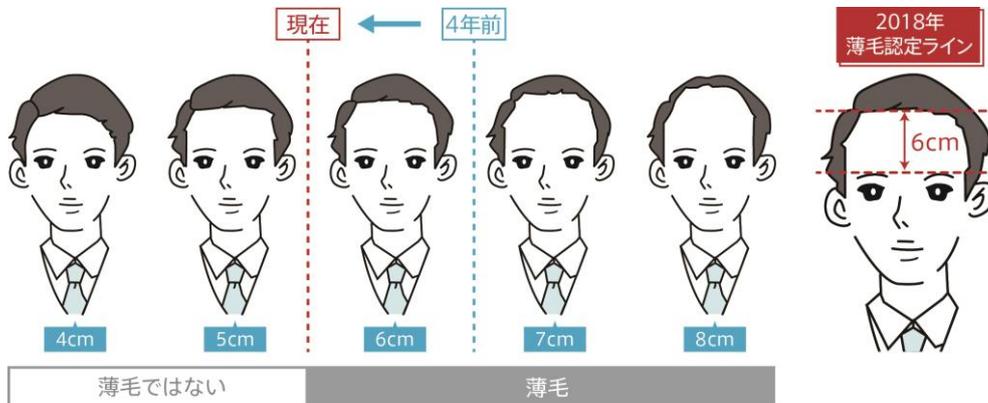
PRESS RELEASE

2018年7月25日

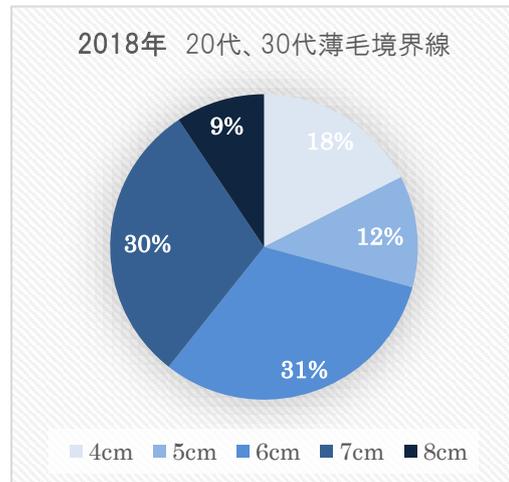
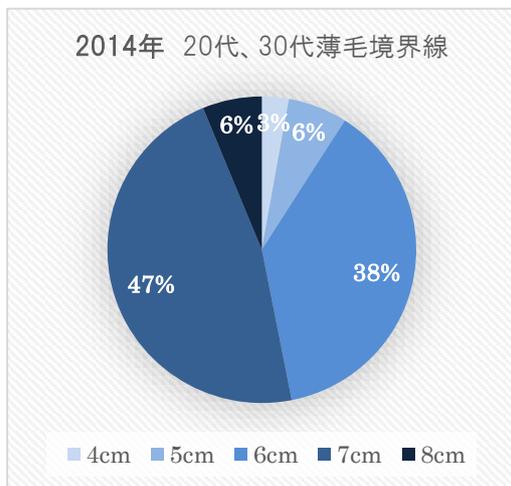
～ニッポン薄毛の意識度大調査～ おでこの広さ何cmを越えたら薄毛!? ミレニアル世代はおでこの広さ6cm以上で薄毛と認識

アンファー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：三山 熊裕）は、全国47都道府県の男性2,350人（20代～60代まで年代別に各470人）を対象に、「ニッポン薄毛の意識度大調査※」を行いました。

今回の調査では、年代によって髪に対する意識に違いがあること、また2014年度に行った調査と比較すると髪に対する意識が高くなっていることが分かりました。



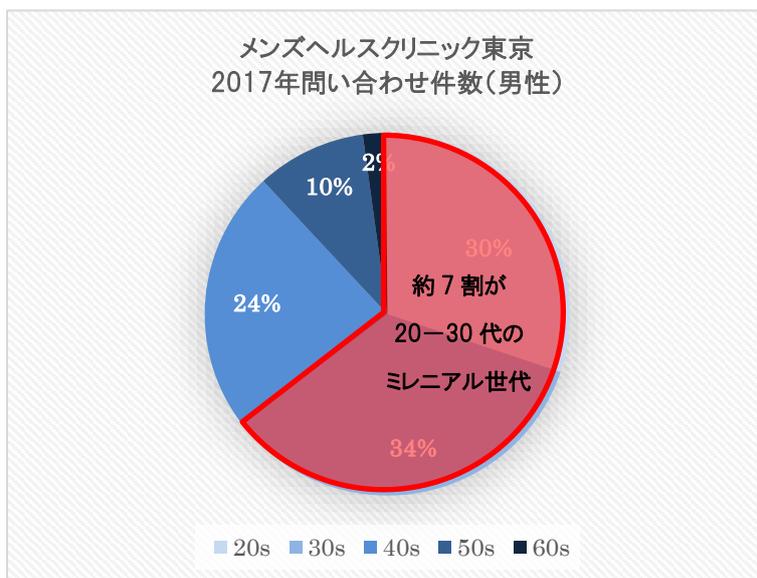
■おでこの広さは、何cmを越えたら薄毛!?!・薄毛に対する考え方は30代が最も厳しく、次いで20代という結果に
今回の調査では、「前頭部の薄毛」に注目し、「おでこ(眉山から髪の生え際を直線で結んだ距離)の広さが何センチ以上になると、薄毛だと思いますか?」と質問しました。その結果、男性の20代と30代が薄毛に厳しく「6cm以上」が薄毛であると回答した人数が最も多い結果になりました。同様の調査は2014年にも実施しており、当時の20代と30代の回答は、「7cm以上」が最も多かったのですが、4年間の歳月を経て約1cm薄毛に対して厳しくなりました。



※ 2018年6月21日(木)～2018年6月25日(月)男性2,350人
(20～60年代別に各470人)

■AGA専門クリニックの頭髪専門外来への問い合わせ件数では、20～30代のミレニアル世代が約7割

2017年にメンズヘルスクリニック東京(東京・丸の内)のAGA外来を受診した初診患者の年齢は、約7割が20～30代でした。これに関してヘアメディカルグループに所属する脇坂長興医師に伺ったところ、「薄毛に悩むヒトの数は昔も今も変わっていない。しかし、インターネットの普及により、医療機関や製薬会社が発信する薄毛治療の情報を誰でも得られるようになってきたことで、薄毛治療自体の胡散臭さが無くなり信憑性が出てきた。さらに、昔はAGAクリニックに通うということが、カッコ悪いイメージが強かったのが、有名人や身近にいる多くのヒトがAGAクリニックに通っていることを公言するようになって、AGAクリニックの敷居が低くなった。最近では携帯電話やスマートフォンで写真や映像などを撮られる機会が増え、自分自身の外見を気にする若い世代が増えているのではないかと思います」と語ってくれました。



■おでこを測ってみてはいかがでしょうか。もしかしたらあなたも薄毛に見られているかも！？

今回のアンケートでは、眉山の上から髪の毛の生え際を直線で結んだ距離をおでこの広さとしています。

皆様もおでこの広さを測ってみてはいかがでしょうか。もしかしたらあなたも薄毛に見られているかもしれません。

アンファー株式会社について

アンファー株式会社は、1987年に会社設立。「予防医学」をタグラインに掲げ、「いつまでも美しく、健やかに生きる」というエイジングケア・ライフスタイルの実現を支援すること。」という企業理念のもと、すべての人々に「美」と「健康」の提供を目指すトータルエイジングケア・カンパニーです。多くの医師や臨床機関・研究機関との密接なリレーションを構築しながら、「スカルプD」シリーズをはじめ、化粧品、食品等、様々なエイジングケア商品・サービスの企画・研究開発および販売を行っております。

【報道関係者お問合せ先】

アンファー株式会社 広報課 北島
TEL:03-3213-8882 FAX:03-3215-6155
Email:takashi.kitajima@angfa.jp

【お客様からのお問い合わせ先】

アンファー株式会社
〒100-7026 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー26F
TEL:0120-722-002 [営業時間:午前9時～午後9時(年中無休)]